

単元名 見積もりを使って

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 差し引いて残った部分を比べたり，切り上げや切り捨てを使ったりする見積もりの仕方を理解し，代金を見積もることができる。
 (2) 目的に応じて，差し引いて残った部分を比べたり，切り上げや切り捨てを使ったりして，見積もって判断することができる。
 (3) 差し引いて残った部分を比べたり，切り上げや切り捨てを使ったりして判断する見積もりの仕方に関心を持ち，この見積もりを生活に用いようとする。

標準的な展開例

05040211_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 仮平均との差を考え，相殺して見積もりを考える。[p. 186]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ さしひいて見積もって考えよう。 ○ だいちさんの考え方を説明する。 ○ 「みんなで考える問題」に取り組む。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>2 切り上げや切り捨てを使って見積もりを考える。[p. 187]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 切り上げや切り捨てを使った見積もりについて考えよう ○ さくらさんの考え方を説明する。 ○ かいとさんの考え方を説明する。 ○ 「みんなで考える問題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バットとボールの代金が1000円といくら違うのかを求めて，その差を考えていることに着目させる。 【評】 見積もりの求め方を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 棒グラフに表して，視覚的に気付かせるようにしてもよい。 ・ さくらさんのノートを参考にして，かいとさんの考えを言葉で表現するようにさせる。 【評】 見積もって判断する活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は，身の回りの事象を題材にして見積もりの必要性に気付き，差し引いて残った部分を比べたり，切り上げや切り捨てを使ったりして判断する見積もりができるようにする。自分で見積もり，そのわけを言えるようにするための学習展開を考える必要がある。